

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		朝倉彫塑館管理運営				所管	文化産業観光部 文化振興課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]						
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区立朝倉彫塑館条例、同施行規則			
	事業対象	区民及び広く一般						
	事業目的	台東区名誉区民であり、日本彫塑界最高峰を極めた朝倉文夫の彫塑芸術作品を気軽に鑑賞できるようにすることで、親しみと理解を深め、芸術文化の向上に寄与するとともに、区民文化の振興を図る。						
	事業内容	・施設の維持、管理 ・彫塑等の収集、保管、展示 ・朝倉文夫に関する調査及び研究 ・彫塑等に関する調査及び研究						
委託の有無	全部委託(指定管理)		委託内容	(公財)台東区芸術文化財団を指定管理者とし、管理運営を委託している。				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	開館日数 (日)		257	休館中	休館中	107	
	成果指標	入館者数 (人)		52,000	休館中	休館中	22,709	
	決算額 (単位：千円)				8,513	8,340	27,253	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,800	1,666	1,278	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			8,508	8,290	27,220	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			5	50	33	
		総経費			10,313	10,006	28,531	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	10,292	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)			10,313	10,006	18,239			
前年度から改善した事項		リニューアルオープンのPRを行うとともに、最寄駅からの案内板や館内順路案内板の設置など来館者がスムーズに観覧できるような配慮を行った。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	リニューアルオープンされた館は区内はもとより区外からも多くの来館者を集めている。					
	効率性	4	監視体制の見直しや順路案内板の新たな設置など、リニューアルオープンに際し、効率的な運営を心掛けた。					
	手段の適切性	4	東京国立博物館及び区立書道博物館との3館連携の特別展など、費用を抑えつつも注目を集める企画でリニューアルオープンしたことを効果的にPRすることができた。					
	目的達成度	4	多くの来館者を集め、昭和30年代当時に復元されたアトリエや朝陽の間など好評を博した。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
4年半の休館期間を経て公開された館は多くの来館者を集めており、名勝・登録有形文化財である館の維持管理に配慮しながら、今後も朝倉文夫の彫塑芸術作品を区民のみならず広く一般に公開していく。							維持	